

よりよい生き方を求めて — 相互理解, 寛容 —

5年特別の教科 道徳 2月〈2時間〉
附属新潟小学校 教諭 劔 仁美

1 本主題で目指す姿

道徳的価値の大切さを理解し、これからの自分の生き方を考える子ども

具体的には、道徳的価値「相互理解, 寛容」の本質(相手の話を聞いたり、相手の事情を押し量ったりして理解しようとする事、相手の言動が自分の期待と異なったときに広い心で受け止めること)や意義(「相互理解, 寛容」の大切さ)に着目し、多面的・多角的に考えたり、経験を基に考えたりするという「見方・考え方」を働かせ、よりよく生きるために根拠を明確にして判断し、行為として具現しようとする資質・能力を発揮して、「難しいとは思いますが相手の話を聞こうと思います。始めは、頭にくるから無視をしようと思っていたけれど、それでは解決にならないと思ったからです」と考える姿。

2 本主題で育成する資質・能力(評価基準)

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
特別の教科 道徳	○ 道徳的価値の理解 【相互理解, 寛容】	○ よりよく生きるために根拠を明確にして判断する力 ○ どのように行動したらよいかを具体的に考え、表現する力	○ 判断の仕方や行為の在り方を実生活で具現しようとする態度

3 単元の計画

次	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	時
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の前半部分を知り、自分がよし子だったらどうするか考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分が電話すると言ったのに、連絡もなくすごく腹が立ちます。 ・約束を破られたら怒るよなと思います。 ・イラッとするけれど、えり子さんに何かあったのかなとも思います。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 私だったら、文句を言って、すごく怒ります。電話をするって言うておきながら、ずっと待っていたのに連絡をくれなかったからです。 ○ 誘ったくせにと思って、無視をします。でも、何かあったのかなと思う気持ちもあります。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・分かります。だって、連絡もなくしてすっばかされた訳だから、ちゃんと説明してほしいと思います。 ・「こっちの事情も聞いてよ」って腹が立ちます。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 二人の日記を知り、感じたこと、考えたことを出し合い、学習課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教材の前半部分(飯田よし子の日記)を読み聞かせ、どのようなことを思うか問う。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 挿絵を示しながら、読み聞かせる。 ※ 読み聞かせるのは、えり子がピアノの先生の家に来てきたところまで。 ※ 読み聞かせた後、キーワードを提示して状況把握ができるようにする。 ◆ 自分だったらどうするか行為と理由を問う。 <p style="text-align: right;">【働き掛け1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ ワークシートを配付し、考えと理由を書くように指示する。 ◆ よし子さんの気持ちに共感できるか、その理由は何か問う。 ◆ 二人の日記を知って、どのようなことを感じ、考えているかと問う。 <p style="text-align: right;">【働き掛け2-①】</p> 	1時間

【Aグループ】

○ ぼくたちが考えたいことは、このあとどうしたらよいかということです。このままではダメだと思うので、何とか解決できる方法を考えたいと思ったからです。

【Bグループ】

○ 私たちは、なぜ、このようになってしまったのかについて考えたいと思いました。原因が分かれば、これからに生かせると思うからです。

【Cグループ】

○ ぼくたちのグループは、どうしたらこのようなことにならないのかについて話し合いたいと思いました。解決策を考えれば、これからに生かせると思ったからです。

学習課題

- ・なぜ、こうなったのか。
- ・約束とは、何か。

○ 学習課題について、哲学対話で話し合う。

○ 日記だから、私たちは分かりますが、実際に起こったら、お互いのことは分かりません。そういうときって、どうしたらよいのでしょうか。

○ う～ん。難しい。

○ 「大丈夫かな」って相手を心配するというか。

○ そのためにできることは、やっぱり心配することくらいしかできない気がします。

○ あとは、話をちゃんと聞くこと。すぐに頭にこないようにすること。実際には難しいけれど...

☆道徳科①③, 協働性

・すごく腹は立つけれど、相手が何か言おうとしているときには我慢して話を聞こうと思います。何か理由があるかもしれないからです。

☆道徳科②

○ 難しいとは思いますが、相手の話を聞こうと思います。始めは、頭にくるから無視をしようと思っていたけれどそれでは解決にならないと思ったからです。

☆道徳科①③

・自分だけの都合で考えるのではなくて、「相手にも何かあったのではないかな」と考えることが大切だと思いました。そうすれば、友達と仲良くいられると思うからです。

☆道徳科①③

◆ みんなでどのようなことを話し合いたいか問い、グループで哲学対話の場を設定する。

※ 哲学対話の形態をとらせる。

※ 哲学対話：10分程度時間をとる。

※ 振り返りのときには、学級全体で一つの円になる。

◆ これから、みんなでじっくりと考えていきたいことはどのようなことか問う。

【働き掛け2-②】

※ 話し合ったことを発表する時間を設定する。このとき、理由も発言するように指示する。

◆ 哲学対話の場を設定し、自己内対話をする時間を設ける。

【働き掛け3】

※ 10分が経過したところで、振り返りの時間を設ける。

※ 対話ではっきりしたこと、もう少し話し合いたいことをワークシートに記述するよう指示する。

※ 10分程度対話の時間を設ける。

◆ 対話で話し合ったことを全体に紹介するよう指示する。

◆ 再度、自分だったらどうするかと問う。

【働き掛け4】

◆ 学習で最も大切だと思うこと、その理由を問う。

【働き掛け5】

1時間

